20



Cabinetmaking
家具







木の性質を読み取り知識と技術をフル活用

毎日の生活に必要不可欠な家具。家具職種では、あらゆる工具を効率的に使用して、一から家具をつくります。図面をもとに、カンナやノコギリなどの手工具のほか、木工機械や電動工具を使って木材を加工。「木づくり」から「仕上がり調整」までの一連の工程を経て、キャビネットをつくり上げる競技です。競技時間は2日間で合計11時間。それぞれの木が持つ性質や、加工方法の知識と技術をフル活用して自分の技量を試します。そこに見えるのは、完成時の喜びと創造の楽しさ。日々の鍛錬を欠かさない家具職人の製品づくりは圧巻です。



＜2025年大会 競技課題＞

競技職種と生活との関わり

生活空間を便利にするイス、テーブル、ソファー、そして、寝具などの脚物家具、タンス、本棚、食器棚、下駄箱などの箱物家具など、家具のない部屋など考えられないほど、私たちは家具に囲まれて生活しています。近年では、最新のコンピューター制御による家具製作をする大手メーカーも出てきましたが、手作業で愛情を込めて作られた家具ならではの味わいを求める顧客も少なくありません。家具製作技能士の仕事は、これからも必要不可欠です。

家具職人には必要不可欠！ 迅速かつ丁寧なテクニック

どのような手順で工作していくのかが重要な家具職種。使用する主な機械や電動工具は他選手と共同のため、使うタイミングには注意が必要です。また、家具づくりで特に高い技能が求められる「引き出し」部分。ケヒキという工具で線を引き、その線に従い部品同士を組み合わせ、ノコギリやノミを用いて部品同士を組み合わせる加工を施します。家具づくりにはなくてはならない作業のひとつです。



佐々木 昌孝 主査　ものつくり大学

前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：株式会社ウッドパーツ］

楠本 恭治 さん

色々大変なこともあると思いますが、後悔のないようにたくさん練習をして頑張ってほしいです！



前回大会金メダリストインタビュー！